



TOPICS

一般質問、審議結果
市議会の役割・仕組みなど
議場見学、防災訓練など
主権者共育
各種研修会、編集後記など

P2 ～ P5
P6 ～ P7
P8
P9
P10

たくさんの子どもたちが市議会へ！

7月は、緑陵高校の2、3年生の生徒（15名）が議場見学へ。9月より、市内中学校を対象とした、「主権者共育」がスタート。9月は明成中学校（33名）、上幌向中学校（20名）の2校の実施となりました。

「市議会だより」カラー版はこちらから ➡



一般質問

第3回定例会において、市の施策の状況や方針について、9名の議員が市長、教育長などに対して一般質問を行いました。誌面の都合上、要約し掲載します。

9月5日（第2号）

一般質問

市民クラブ 新井 優也 議員
新緑風会 松本 一郎 議員
市民クラブ 木村 光宏 議員

9月8日（第3号）

一般質問

日本共産党議員団 山田 靖廣 議員
新緑風会 河合 清秀 議員
公明党 斉須 正友 議員

9月9日（第4号）

一般質問

市民クラブ 豊岡 義博 議員
日本共産党議員団 上田 久司 議員
民優会 坂井 照美 議員

質問項目の詳細につきましては、発言通告書をご覧ください。



係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。



市民クラブ

新井 優也



新緑風会

松本 一郎



岩見沢市の市道、横断歩道・歩道のカラーリングによる交通安全対策について

カラー舗装の事例について

「市長」国道では、主要交差点における直進・右

左折レーンや横断歩道などで施工。市道では、東山公園通の交差点や日の出小学校前の下り車線部で実施。

通学路や市道の見やすさ向上の舗装改良実績について

通学路における安全対策は、主に歩道を整備。車道部のカラー舗装の実績は、先ほどの2か所。

カラー舗装への当市の判断基準、設置条件について

安全対策として、車道と段差を設けた歩道整備に取り組んできたため、カラー舗装に限定した具体的な判断基準や設置条件は定めていない。

通学路や高齢者施設周辺等の整備優先順位について

積極的にカラー舗装を導入する方針ではなく、優先順位を考慮した整備計画は策定していない。

市民要望に対する対応と改善反映について

小中学校の通学路に関しては、学校からの危険箇所改善要望を受け、学校関係者、教育委員会、公安委員会、道路管理者が合同で点検を実施。横断歩道の新設や街路樹の伐採・剪定など必要な対策を行い、安全性を高めている。また、町内会などからの要望にも現

地確認を行い、危険箇所は迅速に対応し、それ以外は年度内対応や経過観察の方針を具体的に伝えている。

今後、道路、パトロールや関係者・住民の声を基に関係機関と連携して効果的な安全対策を進める。

自治体予算編成における、「ニーズ」と「ウォンツ」

岩見沢市の予算編成

「市長」市は毎年10月に予算編成方針を策定し、各部局の見積りを財政部局が精査の上、予算を調整。中でも「総合戦略」に掲げた各事業を最重要施策としている。

私が目指しているものは、これまでも一貫して「市民生活の質の向上」と「地域経済の活性化」であり、その実現に向けた方策が総合戦略に網羅されている。予算編成にあたり、全体のバランスに留意しつつ、「総合戦略」に掲げた各事業についての一定の枠を確保するよう努めてきた。

今後、中期財政計画の適切な進捗管理を通じた持続可能な財政運営の下で、地方創生の取組を着実に推進していく。

物価高騰社会における市民生活のサポート

プレミアム商品券の発行については、物価高騰が事業活動や市民生活に影響を及ぼしていることは認識しているところだが、今後、国において経済対策が検討されており、これらを踏まえ検討してまいりたい。

市としては、一般家庭への宅配ボックスの購入に係る助成については考えていないが、メール・アプリ等のデジタル技術の活用を促進することで、再配達の削減による働き方改革に寄与するとともに、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を進める。



市民クラブ

木村 光宏



高齢者・障がい者世帯への

熱中症対策について

質 熱中症予防などに関する相談状況について

答 【市長】市ホームページや広報いわみざわ7月号の準特集記事により注意喚起したところであり、熱中症の症状等に関する問合せが保健センター等に数件寄せられている。内容については、熱中症が疑われる症状の相談や対処法等に関するもので、対処法やクーリングスポットの紹介、必要に応じて病院受診を勧める等の対応をしている。

質 熱中症予防を必要とする高齢者や障がい者世帯の把握状況について

答 民生委員やケアマネジャー等は、日頃から熱中症予防の必要性に関わらず、高齢者等の状況把握を行っている。また、民生委員による見守り活動においても、生活実態の確認は行われており、今後も関係機関等との連携を図りながら、高齢者等の状況把握に努める。

質 エアコン設置補助制度の創設について

答 当市においては、プレミアム付建設券の発行を支援することで、地域経済の好循環を促進するとともに、エアコン設置を含めた市民の様々な住宅改修ニーズにお応えしている。令和6年度におけるプレミアム付建設券の実績では、総件数1千125件のうち、約3割にあたる344件でエアコン関連の工事が行われており、高齢者等に限らない、幅広い世帯にご利用いただいていることから、エアコン設置に限定した補助制度を創設する予定はない。



日本共産党議員団

山田 靖廣



教育行政について

質 児童生徒の薬物乱用から健康を守る取組について

答 【教育長】近年、若年層を中心とした一般用医薬品の過量摂取、いわゆるオーバードーズによる健康被害が年々増加するなど、子どもを取り巻く現状は憂慮すべき状況にあり、薬物乱用防止等に関する教育の充実が求められている。

とりわけ現代は、多様な悩みやストレスなど、子どもたちが抱える問題は見えづらい時代となっており、これらが薬物使用につながる一因とも言われている。

そこで、悩み事などの相談体制について、各学校では、定期的な教育相談はもちろんのこと、養護教諭やスクールカウンセラーを含めた相談対応を随時行っている。また、道教委が実施しているお悩みポストなど、複数の相談窓口を周知し、子どもたちのSOSを早期に察知できる環境づくりを進めている。

薬物乱用防止教室については、市内の各学校において、学校薬剤師会や警察、ライオンズクラブ等の団体と連携し、地域や学校、児童生徒の状況に応じて、薬物乱用の危険性や有害性などの社会的課題を取り上げながら開催している。なお、教室の開催にあたっては、アンケートを実施し、薬物に対する認識の向上に加え、子どもたち自身の考えや学びの振り返りにつなげている。



新緑風会

河合 清秀



岩見沢市の財政と予算執行について

質 人口構造の改善に向けたシフトについて

答 【市長】人口減少に適応したまちづくりについて総合戦略の中でしっかりと取り組んでおり、引き続き、当市の優位性である豊かな自然環境や優れた交通アクセス、高度なICT基盤等を生かし、総合的な暮らしやすさの底上げを図り、より魅力ある地域づくりを進めてまいりたい。

質 市が自ら利益を上げようとする事柄について

答 歳入の確保という観点では、計画に基づき、ふるさと納税も含めてしっかりと取り組んでいる。

質 民間の活力を導入し道の駅を設置する考えについて

答 これまでもお答えしてきたように、近年は、避難所や備蓄倉庫としての活用やバリアフリー化への対応、地域特産品の販売、インバウンド受入れ環境の整備など、地方創生、観光や防災分野での機能拡充が求められており、これによる建設費等の増加に加え、維持管理経費の増大や冬期間の来客数の減少など北海道特有の様々なマイナス面を踏まえると、具体的な検討を進める状況にはないと考えている。

質 予算は市民に対する約束という考えについて

答 毎年度の予算案は、議会に諮り議決をいただいた上で責任を持って執行しており、その際に示した詳細な説明資料は、ホームページで市民の皆様にも公表している。



公明党

齊 須 正 友



農作物の猛暑対策について

【質】 今夏の農作物に対する猛暑の影響について

【市長】 JAいわみざわに確認したところ、小麦については、収量の減少や品質の低下が見られている。また、玉ねぎについては、高温に加え、降水量も少なかったことにより小玉傾向となっており、他の一部品目についても影響があると報告を受けている。一方で、水稲については、影響は少ない状況と聞いている。

【質】 道内の猛暑対策の情報収集について

【答】 北村農業試験圃において大豆及び春まき小麦の試験を実施し、バイオスティミュラントによる農作物の生育や収量への効果については、情報の蓄積を図ったところである。猛暑対策を目的とした試験ではないことから、猛暑への効果の検証はできていないが、普及に向けた環境が整いつつあることから、今後については、引き続き関係機関と連携のうえ、情報共有を図っていききたい。

【質】 試験圃での研究による岩見沢モデルの構築について

【答】 試験圃では、普及センター、JAいわみざわと協議のうえ各種農業試験を毎年実施している。

今後、さらなる試験圃の有効活用を図るうえでも、近年の気候変動に対応した耐性を高める試験の実施も重要となってくるため、本市の気象条件等との適合性や効果についての試験実施について、必要に応じて検討していく。



市民クラブ

豊 岡 義 博



町内会について

【質】 加入世帯の減少と役員のなり手不足について

【市長】 町内会加入の取組については、市広報による周知のほか、市の窓口での転入・市内転居の際にチラシの配布、北海道教育大学岩見沢校の新入生に対するチラシの配布などを行っている。

町会活動の縮減については、実際に町会から解散や活動継続の困難などの申出があった場合、活動内容の見直しの提案や町内会継続のメリットの説明を行い、理解を求めている。

また、町会活動を極端に減らした場合の影響については、防災活動における共助の低下など様々な問題が考えられる。市では、町会役員等の負担軽減を図るとともに、なり手不足解消に努めている。

【質】 町内会館・自治会館の修繕やエアコン設置等の問合せ状況と補助について

【答】 会館についての補助の問合せは今年度が8件、そのうち、4件がエアコンの設置に関するものである。

補助制度については、平成29年に補助率を5割から6割に引き上げ、外構や解体に対する補助を追加するなど、要望に応じて補助制度の改正を行ってきた。

今後必要内容、件数などを把握したうえで、より使いやすい補助制度となるよう検討を行っていく。



日本共産党議員団

上 田 久 司



国民健康保険にも傷病手当と出産手当金を

【質】 健康保険にはあるが、国民健康保険加入者にはないことから、生活を保障する上で国民健康保険にも創設を

【市長】 傷病・出産手当金は、協会けんぽ等の被用者保険においては、所得補償として制度化されている一方、主に医療保障を目的とした国民健康保険制度では、国の財源保障がない任意給付であることから、全国的にもほぼ実施されていない状況である。

また、国保は、加入している被保険者の生活や就業形態が様々であり、疾病等に伴う収入減少の状況も様々であることから、公平な支給認定や労務判定など制度上の対応が難しいという課題もある。

国保加入者のうちパート従業員など被用者に当たる就業をしている方も、被用者保険の適用拡大に伴い減少していく中、今後国が、所得補償を主眼とする制度の実施をどのように検討していくのか、その対応を注視してまいりたい。

また、医療の高度化や高齢化に伴い、一人当たりの保険給付費の増加が続く状況の中、財源措置のない独自事業の実施は財政運営の面からも現実的ではなく、加えて、令和12年度には北海道内において保険料の統一が予定されており、給付等の取組についても統一的取扱いを目指す方向性が示されていることから、国保制度において市独自で手当金を創設することは想定していない。



民優会

坂井 照 美



フレイル予防事業の現状と

今後の方向性について

【質】フレイル予防事業の現状と今後の取組について

【答】〔市長〕フレイル予防はとても重要と認識しており、地域の介護予防拠点「通いの場」の立ち上げや体操教室、認知症予防のイベント、アンケート調査等により、早期にフレイルリスクを発見・予防する取組を行っている。

【質】健康ポイントアプリ等を活用した早期発見のための取組について

【答】市の健康ポイント事業に参加されている70歳以上の高齢者は、紙のポイントカードを利用されている方が多く、フレイルリスクの高い年齢層へのアプリの活用は現時点では難しいものと考えている。

また、フレイルの早期発見のための機能をアプリに追加するには、大幅なシステム改修が必要となり、費用負担やデータ分析等に係る人的負担も大きいことから、現状での導入は難しいものと考えている。

【質】フレイル予防事業の今後の方向性について

【答】フレイルリスクは早期発見が重要なことから、地域の身近な場所へ保健師や社会福祉士が出向く、「移動フレイルチェック」を昨年度から実施し、今年度は新たに脳の健康度を測るデジタルツールを導入し、認知機能低下の早期発見にも取り組んでいるところである。

今後においても、誰もが健康でいきいきとした生活を送っていくための取組を進めてまいりたい。

令和7年第3回定例会（9月1日 ▶ 9月12日）審議結果

議案番号	件 名	審 議 結 果
議案第 48 号	岩見沢市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	原 案 可 決
議案第 49 号	職員の育児休業等に関する条例及び岩見沢市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	//
議案第 50 号	岩見沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	//
議案第 51 号	市道路線の認定及び廃止について	//
議案第 52 号	令和7年度岩見沢市一般会計補正予算について（第2号）	//
議案第 53 号	令和7年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について（第1号）	//
議案第 54 号	令和6年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について	閉 会 中 継 続 審 査
議案第 55 号	令和6年度岩見沢市病院事業会計決算の認定について	//
議案第 56 号	令和6年度岩見沢市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	//
議案第 57 号	令和6年度岩見沢市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	//
議案第 58 号	教育委員会の教育長の任命について 【吉永 洋氏】	同 意
意見書第 10 号	国土強靱化に資する社会資本整備等について	原 案 可 決
意見書第 11 号	有害鳥獣対策の推進について	//
意見書第 12 号	持続可能な学校の実現について	//

※可決された意見書の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第3回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 有害鳥獣対策の推進を求める意見書について
- 核兵器と原発のない平和な世界をめざす要請書について
- 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書について
- 岩見沢市における国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について

議事機関(市議会)、執行機関(市長)両者とも、市民生活、市民福祉の向上のための市政を担っています。

check!

市議会の役割・仕組みとは?

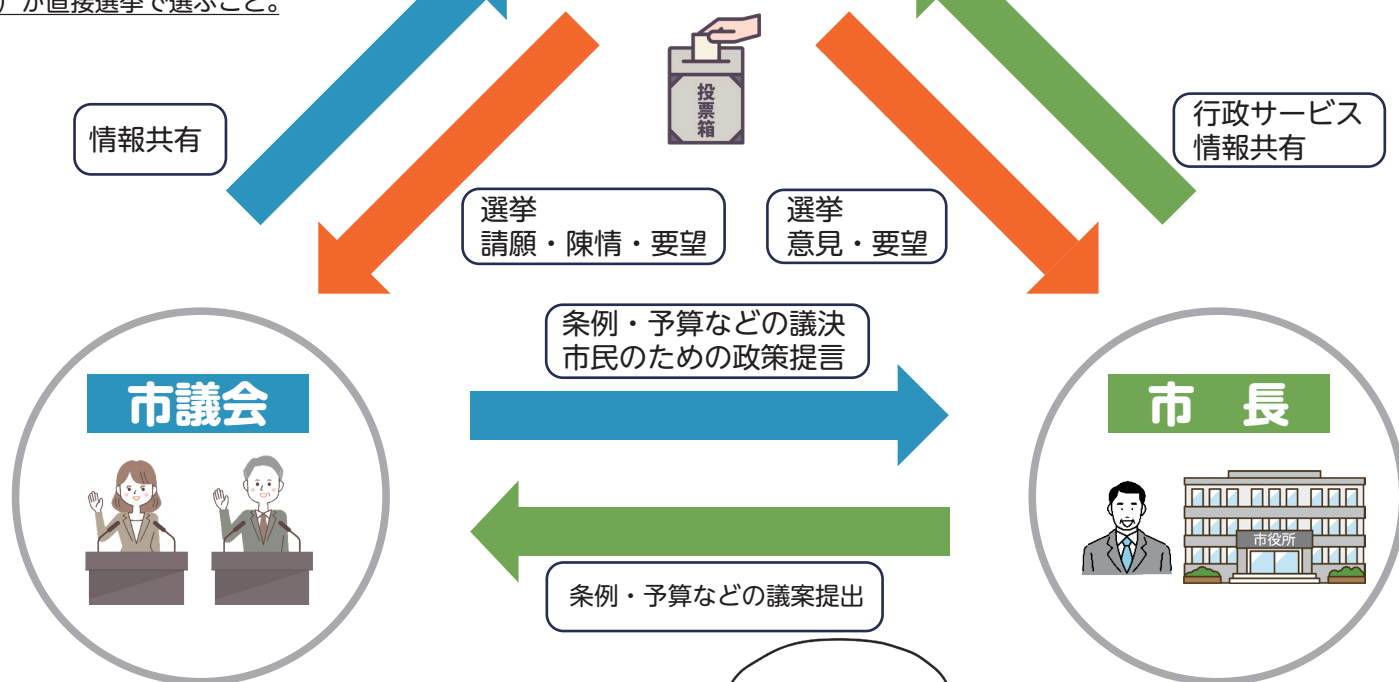
「市議会」にはどんな役割があり、どのような仕組みになっているのか。改めて市民の皆さまにご紹介させていただきます。

二元代表制とは?

首長(市長)と地方議会(市議会議員)の2種類の代表を住民(市民)が直接選挙で選ぶこと。

市議会の役割とは?

市政の監視・チェック!
市民の意思を政策に反映!



市議会の構成

本会議
本会議は、全議員で構成する会議です。市長や議員から提案された議案等を審議したり、市や議会の最終意思を決定したりするところです。会議は議場で開かれます。

常任委員会

特別委員会

議会運営委員会

総務常任委員会

民生常任委員会

経済建設常任委員会

特別委員会は、必要な場合に、議会の議決で設置し、委員定数も議会の議決で決めます。委員の任期は審査が終了するまでです。現在は、新病院建設特別委員会、定住自立圏・総合戦略特別委員会が設置されています。

議会運営委員会は議会の円滑な運営を図る委員会です。

常任委員会の詳細は、P7をご覧ください!

委員会活動 レポート



常任委員会とは？

提出された議案などは数が多く範囲も広いことから、幾つかの常任委員会を設けて、専門的、能率的に審査・調査を行い、最終的に本会議で議決されます。岩見沢市議会では、3つの常任委員会を設置し、議員はいずれかの委員会に所属しています。

ー主な委員会活動についてー

議案審査 本会議で市長や議員から提出された議案を審議します。

所管事務調査 各常任委員会所管部署の事務内容に関する調査を行います。
さらに、岩見沢市議会では年度当初に重点的に調査すべき案件を「重点調査項目」として設定し、市の現状や課題について調査を行っています。

point /

～重点調査項目の流れ～

- ①活動計画の協議
- ②各委員が個々に重点項目と思われるものに対し、「市民目線」で調査（全員がまとめたものを提出）
- ③ ②について委員会全体で共有
- ④重点調査項目の選定
- ⑤事務調査を行い、所管部署の現状と課題を把握
- ⑥調査内容をもとに他都市調査を実施
- ⑦調査報告書の作成及び市議会として調査結果の共有

※1月下旬頃に全議員出席のもと、各常任委員会の調査結果について報告会を開催予定です。

経済建設常任委員会

<所管事務調査>

9月10日 「岩見沢市都市計画マスタープラン」等の策定について

重点調査項目

調査の流れ・・・①～⑤まで実施

<②各委員が調査し、提出した項目>

農政部

- ・有機農業の推進について
- ・農家の高齢化対策と農業の6次産業化について

経済部、建設部

- ・中心市街地活性化の取組について
- ・観光振興について
- ・企業誘致について
- ・インバウンド対策について
- ・地域産業振興基本条例について



<④本年度選定された項目>

・観光振興 ・中心市街地活性化 ・農業振興

総務常任委員会

<所管事務調査>

8月21日 「中長期財政計画」の改定について
「公共施設再編基本計画」について

重点調査項目

調査の流れ・・・①～⑤まで実施

<②各委員が調査し、提出した項目>

総務部

- ・業務効率化（ICT、アウトソーシング）
- ・広報広聴への取り組みについて
- ・自治体アプリ導入について

企画財政部

- ・地域公共交通について
- ・ふるさと納税について
- ・移住者支援への対応について
- ・公共施設再編への取組



教育委員会

- ・小中学校統廃合について
- ・地域みらい留学について
- ・就学援助制度について
- ・給食無償化について

<④本年度選定された項目>

・地域公共交通 ・ふるさと納税 ・ICTを活用した業務効率化

民生常任委員会

<所管事務調査>

8月1日 経営統合及び新病院建設並びに岩見沢市病院事業
経営強化プランについて

※新病院建設特別委員会・民生常任委員会連合審査会
としての事務調査

重点調査項目

調査の流れ・・・①～⑤まで実施

<②各委員が調査し、提出した項目>

健康福祉部

- ・健康経営都市の推進のための施策について
- ・食べ物による成人病予防について
- ・ハンセン病強制隔離政策から正しい障がい者政策について
- ・健康ポイント事業について
- ・成年後見制度について
- ・認知症対策について
- ・民生委員・児童委員について
- ・介護業務の省力化について
- ・ヤングケアラー支援について

市民環境部

- ・ゴミ減量化について

市立総合病院・市立栗沢病院

- ・病院経営の黒字回復について
- ・DX化を図る取組について



<④本年度選定された項目>

・福祉 ・ヤングケアラー ・民生委員・児童委員 ・ごみ処理

～議場説明～

傍聴席や議席、演壇、マイクやモニター等の設備についての説明



～バックヤードツアー～

普段は一般開放されていない制限のある区域の見学



議場見学を実施しました！

～緑陵高校～



7月11日（金）に、緑陵高校の生徒さん15名が市議会にいらっしゃいました。

昨年度から、希望する生徒さんに対し、普段は制限があり、なかなか入ることができない場所や議場の見学を実施しています。また、身近なまちづくりに関することや、議会・議員に関する質問をいただき、議員が直接お答えしています。

帰り際に生徒さんから「ありがとうございました」とご丁寧な挨拶を。同時に温かい気持ちも一緒に頂きました。我々にとっても、大変貴重な時間となりました。

～生徒さんからの質問タイム～

- ・街灯が少なく暗いイメージがあります。街灯を増やしてほしいです。
- ・公園にストリートコートを作って欲しい。
- ・市議会で決まった事は、どのくらいの期間で反映されますか？
またその流れについて教えてください。



FM はまなすへ出演しました



9月3日（水）、広報広聴委員会の活動として、FM はまなす「ひろむのちょこまかエクスプレス」に山田靖廣委員、坂井照美委員の2名が出演しました。

第3回定例会の告知と傍聴についてのご案内、9月下旬から始まる主権者共育について、お話をさせて頂きました。

防災訓練を行いました～議会 BCP～



災害時における市議会と議会事務局の体制を検証・点検し、災害に対する危機意識を高める観点から全議員及び事務局職員が参加の防災訓練を実施いたしました。

今回は、被災時における安全確認や自宅周辺の被災状況の情報収集・共有の訓練を行いました。

新病院建設特別委員会・民生常任委員会 連合審査会を行いました。

労災病院との経営統合、新病院建設、経営強化プランの改定についてそれぞれ密接に関連があることから、8月1日（金）に新病院建設特別委員会と民生常任委員会の連合審査会を開催し、市から説明を受けた後に質疑を行いました。

岩見沢市議会では平成15年に開催以来22年ぶりの「連合審査会」となりました。



主権者共育

実施しました



社会問題や地域課題に対し、自ら考え、判断し、行動していく主権者を育成し、将来の地方自治を担う子ども達に地方議会への理解や関心を深めることを目的とした「主権者共育」。昨年度に引き続き岩見沢市議会では市内全中学校を対象に9月より実施することとなりました。

本来は「主権者教育」ですが、生徒の皆さんとの交流を通し、我々、議員も共に考え、学ぶ機会となることから今回より「主権者共育」へ変更し取り組んでいます。

check!

～主権者共育実施内容～

- ・議場の説明
- ・バックヤードツアー
- ・市議会の仕組み、市民の要望が実現されるまで
- ・議員活動について
- ・生徒さんからの質問
- ・自由見学、議員との意見交換など



～生徒さんからの質問タイム～

通学路に街灯が少ない。今後の対応は？

娯楽施設を増やしてほしい

ふるさと納税の返礼品でバラ関連の品は？

人口減対策の取組は？



いつもあのような感じで議会をしていて、とても緊張感があると感じました。

様々な年代の方が議論しているから、様々な意見がでて良いと思う。

始めは理解していなかったけど、「主権者共育」を通して市議会についてよく知れて良かった。

感想を聞いてみました！

今回、訪れてみて興味を持てたり、理解できたので市議会の様子も見てみたい。

私たちの質問に対する答弁で知れたことが知れたし、さらに詳しく知ることができた。

意見を交流することで、新たな気づきを得られること、より良いことへ向く可能性が高まることが分かった。

より多くの生徒さんに質問の機会を持ってもらうため、答弁の時間をあらかじめ設定しております。その中でも、わかりやすく、簡潔に伝わるよう各議員が考えながら取り組んでおります。

また、最後の自由時間では、生徒の皆さんと意見交換などを行い、議場は子ども達の賑やかな声でいっぱいになりました。



議会日誌

- 7月 15日 ・新病院建設特別委員会 ・民生常任委員会
・経済建設常任委員会
17日 ・総務常任委員会
29日 ・経済建設常任委員会
30日 ・広報広聴委員会 ・総務常任委員会
31日 ・議員定数等検討委員会 ・議会運営委員会
・幹事長会議
8月 1日 ・民生常任委員会
・新病院建設特別委員会・民生常任委員会連合審査会
19日 ・道央支部協議会議員研修会・林活議連研修会
21日 ・幹事長会議 ・総務常任委員会
28日 ・経済建設常任委員会（意見交換会）
29日 ・議会運営委員会
9月 1日 ・各派代表者会議 ・第3回定例会（第1号）
・広報広聴委員会
5日 ・第3回定例会（第2号）
8日 ・第3回定例会（第3号） ・幹事長会議
9日 ・第3回定例会（第4号）
・決算審査特別委員会 ・議員定数等検討委員会
10日 ・総務常任委員会 ・民生常任委員会 ・経済建設常任委員会
・総合戦略・定住自立圏特別委員会
11日 ・岩見沢市議会防災訓練
12日 ・議会運営委員会 ・第3回定例会（第5号）
・広報広聴委員会
18日 ・議員定数等検討委員会・広報広聴委員会合同委員会
22日 ・主権者共育（明成中）
24日 ・総務常任委員会 ・経済建設常任委員会
・北海道大学 COI-NEXT 視察研修（議員会研修会）
30日 ・主権者共育（上幌向中）

岩見沢市議会議員会研修

～北海道大学 COI-NEXT～



岩見沢市では、2015年から産学官連携のもと、北海道大学 COI-NEXT「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」を構築し、「若者が、自分の選択肢を増やすことができ、他者（ひと）とともに、自分らしく幸せに生きる社会」の実現を目指し、取組を進めています。9月24日（水）に実施した議員会研修では、事業の説明や施設見学、プロジェクトリーダーの方々との意見交換を実施し、とても充実した時間となりました。

令和7年第4回定例会

12月

開会予定です。



議場にてお待ちしております！

北海道市議会議長会道央支部協議会 議員研修会・林活議連研修会

岩見沢市議会議員会事業として、令和7年8月19日に「赤平市交流センターみらい」において開催されました北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会に参加し、(株)札幌ドーム代表取締役社長 阿部晃士氏による「グローバルな空知を目指して」を演題に、空知地方における強みを生かしたインバウンド需要の取組についての講演を拝聴いたしました。



また、同日に森林、林業、林産業活性化・岩見沢市議会議員連盟（通称：林活議連）の研修として、赤平市の(株)ニッショウ様を訪問させていただきました。一元化された建築用木材の切断・加工等について視察研修を行いました。本研修、意見交換をする機会は大変貴重で学びの多い時間となりました。

議員定数等検討委員会を開催しました。



岩見沢市議会では、議長の諮問機関として「議員定数等検討委員会」を設置し、7月31日に第1回目を開催いたしました。今後の協議内容としては、議員定数の他、議会の活性化（あるべき議員像、広報広聴の方向性など）、議員のなり手不足解消（議員報酬の在り方など）について幅広く協議していきます。委員は8名、月1回程度の開催を予定しており、令和8年1月を目途に結論を取りまとめる方針です。市民の皆さまの理解を得られるようしっかり取り組んでまいります。

編集後記

第3回定例会には10議案が提案され、議員は議案への質疑や審議に取り組みました。また議会としては中学生を対象に主権者共育や幅広い市民と意見交換会を進めていく計画そして各常任委員会での他都市調査と決算審査特別委員会も開催されますので秋は超多忙になります。でも市民の皆さん「かわら版」及び議会への要望や意見は是非遠慮せず身近にいる議員へお寄せ下さい。

（山田 靖廣）

議会広報広聴委員会

- <委員長> 坂井 秋子
<副委員長> 松本 一郎
<委員> 新井 優也
木村 光宏
野尻 清
河合 清秀
坂井 照美
猪口 満雅
山田 靖廣

